

〔新入社員の声〕

怖かったブタが可愛く思えてきた

畑 あずさ（㈱シムコ 岩出山事業所）

All about SWINE 54, 29

入社してから約10ヶ月が経ち、大分仕事にも豚にも慣れてきて、仕事が楽しく感じるようになることも増えてきました。

学生時代は豚や動物に関する事は一切勉強してきておらず、家で動物を飼ったこともなかったので、動物に関する知識等はほぼ皆無でした。そのような状態で養豚業界に入ることを決めたため、最初はやっていけるか不安でした。おまけに同期入社の人たちは学生時代に豚や、何かしらの動物に触れてきていた人たちだったので、それが余計に私を不安にさせ、焦りを募らせました。

入社し実際に現場に入ってみると、当然やったことも見たことも聞いたこともないことばかりで、正に「右も左もわからない」状況でした。子豚は可愛いと感じてても母豚や種雄豚に対しては恐怖しかなく、初日は母豚に触ることさえできなかったもので、定型作業の残飼回収では、母豚が少しでも寄ってくると怖くなり、分娩舎1部屋終わらすだけでも時間がかかっていました。特に、怖いと思った作業は母豚への注射治療です。母豚が動くたびに、母豚も私も怪我をするのではないかと、とにかく怖かったです。最初の1ヶ月は楽し

さよりも怖さと不安の方が断然大きかったです。約10ヶ月経って、今もお母豚や種雄豚を怖いと思う時もありますが、可愛いと思うことの方が多くなってきました。注射治療もいまだに怖いままですが、コツを教わり少しずつですが慣れてきました。

仕事内容も、その都度言われたことをこなすことに精一杯ですが、いつの間にか、次の指示を仰がなくても自分で考えて動けるようになり、気付いたことにも手を回せるようになってきました。また、仕事を私1人でも任せてもらえることが増え、農場の一員になれたように感じてきました。指示を受けて動くのではなく自分で考えて動くようになると能動的になり、仕事に対する意識も変化してきました。

豚に慣れてくると豚と触れ合うことが楽しみになってきて、仕事に慣れ1人でも動けるようになると仕事をするのも苦ではなくなりました。もうすぐ新入社員がやって来る時期になるので、いまだにわからないところや曖昧なところを明らかにして、農場の一員になれるようにより一層精進したいと考えています。